

柱状図の見方

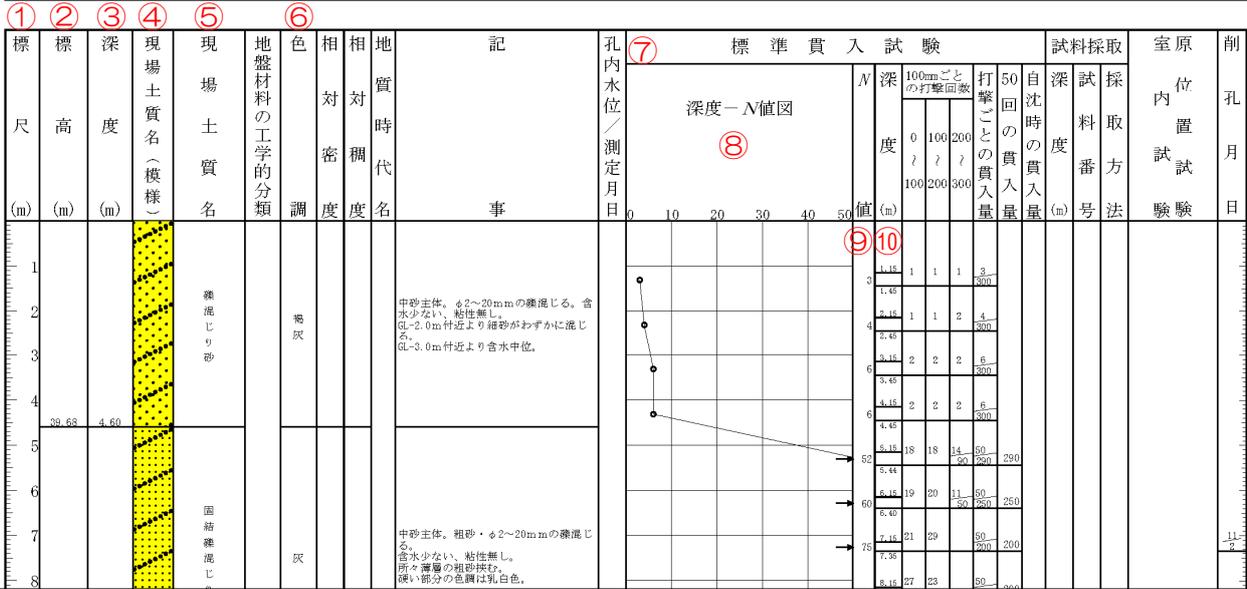
土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 宮原地区急傾斜地保全対策工事及び道路災害防除工事に伴う地質調査(31 大の1)

事業名 または 工事名 (宮原地区)

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	90856	調査位置	東京都神津島村地内	北緯	34° 12' 8.1"
発注機関	東京都大島支庁	調査期間	2019年 11月 1日 ~ 2019年 11月 5日	東経	139° 08' 14.6"
調査業者名	地盤調査株式会社 電話 03-6842-9700	主任技師	東田謙 地盤調査士 登録番号	現場代理人	泰山剛 地盤調査士 登録番号
コ ン 定 者	泰山剛 地盤調査士 登録番号	ボーリング責任者	泰山剛 地盤調査士 登録番号	試験機	YBM-05
孔口標高	T.P. 44.28m	角	180° 上下 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	鉛直 90° 0°	使用機種	エンジン ヤンマーNFD9
				ポンプ	GP-5



- ボーリング柱状図

ボーリング柱状図は「ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取扱い・保管要領案・同解説：平成27年6月：一般社団法人全国地質調査業協会連合会・社会基盤情報標準化委員会」に定められた書式としています。なお、同要領以前に作成された地盤情報については、不足する項目の情報を空欄としています。以下、柱状図の内、主な項目について説明します。

 - ① 標尺(m)：基準となる長さを1m単位の主目盛と10cm単位の補助目盛で表示しています。
 - ② 標高(m)：各層境界の高さを標高で示しています。
 - ③ 深度(m)：各層境界の地表面からの深さを表しています。
 - ④ 現場土質名 (模様)：土の種類を記号と色で表現したものです。
 - ⑤ 現場土質名：土の種類を名称で表現したものです。
 - ⑥ 色調：調査が行われた時の土の色を表現したものです。
 - ⑦ 標準貫入試験 (SPT)：地盤の工学的性質 (N値) 及び試料を求めめるために行われる試験でありJIS A 1219により規定されています。
 - ⑧ 標準貫入試験・深度-N値図：N値と測定中心深度との関係をグラフ化したものです。最大値は50回で、50回を超えるものを「→」で表示しています。
 - ⑨ 標準貫入試験・N値：SPT サンプラーを (自重や予備打ちにより貫入させた後) 300 mm打ち込むのに必要な打撃回数です。
 - ⑩ 標準貫入試験・深度(m)：標準貫入試験の測定を開始・終了した深さを表しています。

• 土質試験結果一覧表
「土質試験結果一覧表 (基礎地盤)：(社) 地盤工学会 6161」に定められた書式としています。

• ボーリング交換用データおよび土質試験結果一覧表データ (XML形式)
「地質・土質調査成果電子納品要領 平成28年10月 国土交通省」に定められた書式としています。